

# 転移性肺がん

「CANCER」月報記事



黒っぽい円形の線など電磁波を受製する「受光面」(N

# らた

兵庫支部の主催。肝炎や肝硬  
まんなどの患者や家族が日頃の  
療について話し合い、情報交  
無料で予約不要。山本宗男支  
00・6609・1168  
【健康情報テレホンサービス】  
保険医協会が実施。曜日ごと  
テーマに沿い、健康・医療情報  
で3分程度流れる。テーマは

【問い】両脚に静脈瘤があり、これまでに3回の手術を受けました。今は治療用の弾性ストッキングをはいて過ごしています。もう手術をしたくはありません。正座をしたり、脚のマッサージを受けたりしてもいいのでしょうか。アドバイスをお願いします。(65歳、男性)

## 下肢静脈瘤

## KARTE カルテ



久保清景医師

【答へ】脚の血管が浮き出たり、こぶのように膨らんだりする病気を下肢静脈瘤といいますが、脚の静脈には逆流を防ぐ弁があり、この弁が壊れて血液が逆流すると、血管が徐々に膨ら

み静脈瘤になります。加齢に伴って増えるほか、立ち仕事の人や女性に多く、妊娠や出産を機に発症することもあります。正座やあぐらは脚を圧迫するので避けるべきです。軽くもむ程度のマッサージはいいでしょう。この病気の当初は症状はないですが、徐々に脚のだるさやむくみ、こぶら返りも起こります。皮膚が赤茶色になる色素沈着や湿疹、潰瘍ができれば重症です。命に関わりませんが、放っておくと症状は確実に悪化するので早期の治療を勧めます。

## 正座やあぐらは避けて

網目状・クモの巣状静脈瘤は直径数ミリの細い静脈や毛細血管が青色や赤紫色になって無数に浮き出ます。血管の超音波検査で脚の状態を細かく調べて治療しますが、内科や整形外科などに関わる病気が隠れていないか診察することも大切です。

治療は、医療用の弾性ストッキングを使う「圧迫療法」▽静脈瘤に硬化剤を注射する「硬化療法」▽

どで血管を中から焼き固める血管内焼灼術があります。どの治療も口帰りで行えます。手術後に再発した場合や病状によっては複数の治療を組み合わせる必要があります。全ての治療を行う医療機関を受診するのが良いでしょう。

神戸新聞報道部医療・科学チーム

FAX 078.360.0629

iryou@kobe-np.co.jp

## 認知症予防 頭にいいラジオ

午前6時35分～42分

【来週の放送予定】30日＝2倍しり取り(言葉遊び)▽31日＝雪の思い出(回想)▽2月1日＝大巻きずし(食)▽2日＝なぞなぞを出題(なぞなぞ)

( )内は分野

CRK ラジオ関西 558

RADIO KANSAI

阪神新聞社  
神戸新聞  
〒250-0292 神戸市東灘区  
美利根1-1-1

神戸新聞報道部医療・科学チーム  
〒250-0292 神戸市東灘区  
美利根1-1-1

（発行元）CRK  
神戸新聞  
〒250-0292 神戸市東灘区  
美利根1-1-1